

【宮田小学校の使命】

- ・ 村へ「笑顔と希望」を発信

【宮田村教育大綱】「郷育」の推進 思いやりの心を育む

教育理念 ふるさと宮田を愛し、村を創る子どもの育成
学校目標 みんなが 笑顔で登校 笑顔で帰宅できる学校

【学び続ける教師集団】

- ・ チーム宮田で仕事

【教育課題】 **すべての子どもが輝く 思いやり（知る・理解する・支える）**

【実践の柱】 **基礎学力定着 と 「宮田小 学び合い」**

柱 1

学力・体力向上

柱 2

人間力・コミュニケーション力

柱 3

郷土愛を育む

基礎学力の定着 子ども同士の「学び合い」

自分から動く

ふるさと宮田へ心を

- 1 この子を生かす「宮田小 学び合い」
- 2 ねらい→めりはり→みとどける授業
- 3 研究体制
 - ① 文科省：特性のある子への支援・指導の在り方
 - ② 体 育：郡体育学習指導研究会 11/8 公開授業
 - ③ 統計教育：31 年度県大会（本校）
- 4 確かな検証
 QU 単元テスト 全国学調等

文科省 新CS完全実施に向けて

- 1 外国語活動・英語
 課題：カリキュラム
 重点：担任英語
- 2 特別の教科 道徳
 課題：廊下歩行 重点：思いやり
- 3 ICT プログラミング教育
 課題：取り組み 重点：慣れる

自ら動き出す児童会

- 1 縦割り班中心の児童会活動
- 2 当番活動の徹底
- 3 声かけ運動；村人と一緒に
 PTA ボンド 区長会

行事で伸ばす

地域との連携

- 1 キャリア教育の発信
 1 年…保育園との交流 2 年…朝顔緑のカーテン
 3 年…花育 4 年…福祉教育
 5 年…健康サポーター 5 年…JICA との交流
 クラブ…聴導犬 等
- 2 地域資源の活用
 宮田高原等の自然、地元の産業
- 3 村とつながるコミュニティースクール
 感謝祭 村文化祭 村運動会 等

重点
活動

- 教えることと考えさせることを明確にした授業
- 新学習指導要領をふまえた実践
- 指導主事の効果的な活用
- ICT 機器活用の研修会
- 道徳の評価に関する研修会
- 学力検査等の結果分析
- よみかきタイム
- 算数少人数学習
- 道村式漢字学習

- 6 年生による挨拶名人の紹介
- ボンドとの連携
- 児童会 3 本柱の実践
- 地域への“一声運動”の呼びかけ
- 集会時のなかよし班活動

- 必修学年活動と学級の活動
- 合唱団・金管による村への発信
- 地域人材バンクの活用
- 村行事への参加